

2010年12月16日

第五回新型インフルエンザ研究会定例会議事録

1. 概要

- (1)開催日時:2010年12月16日 16:00~18:30
- (2)場所:BCAO 東京オペレーション事務所
- (3)今回の議長役:富士通エフサス 縄稚座長
- (4)議事録作成者:富士通エフサス 小友

2. 出席者(順不同)

- 縄稚座長(富士通エフサス)
- 落合様(東京工業大学)
- 森山様(SMC)
- 白澤様(ANA 総研)
- 高麗様(富士通エフ・アイ・ピー)
- 小友(記)

3. 本日のテーマ

- ・重要事業部門の詳細チェック項目の精査
- ・訓練方法の検討

4. 詳細チェック項目の精査

- ・下記を参考資料として活用
- ① 2009年3月18日版「新型インフルエンザ研究会(深谷座長)
- ② 新型インフルエンザ研究会(訓練リハーサル研究グループの成果(抜粋))

(1)代替要員の確保

①多能工制度

- ・森山様から説明があり、製造会社においては、スキルマップを作成している。
- ・このマップは、BCPにも流用できるかもしれない。

②マルチスキル習得のためのクロストレーニング

- ・クロストレーニングが合う業種・業務はあるのかの議論あり。
- ⇒特にそういったことはしていない(白澤様、森山様)

③スプリットチーム体制の導入

- ・場所や設備は業務形態によってかなり違ってくる？
- ・待機要員がいる場合とない場合で対応は違う。
⇒多少の生産性低下はやむを得ない。
- ・宿直(籠城)の場合は、ルール、宿泊設備の整備も検討の必要。

④外部委託者の確保(協力会社・パート・アルバイト)

- ・内製化を図り、補完できる体制を構築する。
- ・外部委託者との契約更改時に、契約内容にBCPの考え方を反映する。
- ・契約上での「請負」と「派遣」の違いを要調査。
- ・「請負」はサプライチェーンとの取り決めの範ちゅう。

⑤特定技能保持者の確保(資格・条件)

- ・①および②に関連

⑥属人化業務の整理・標準化(マニュアル作成など)

- ・その業務の過去の従事者(退職者含む)のリストアップも有効

⑦臨時雇用(派遣社員・パート・退職者)の導入

- ・就業規則の確認。
- ・スキルの維持・教育・管理方法の検討

(2)代替事業所の確保

①代替事業所の候補リストアップ

(3)勤務レイアウトの変更(作業配置の変更)

①2m 離れる

- ⇒広さに余裕のある企業は少ないのではないか？

②フロア・事務所を分ける

- ⇒新たなる場所の確保は難しい。
- ⇒代用できる場所の確保の検討

(4)サプライチェーンとの取り決め

①取引業者との取り決め

- ⇒業種・業界により、縮小・拡大がある。

②課題項目を次の4点に分解して整理する

- ・材料・部品の調達
- ・物流サービス

- ・修理・保守サービス
- ・施設運用管理サービス

②法的課題の整理

(5)行政・業界団体との連携

5. 訓練方法について検討

(1)訓練目的(範囲)

研究会のテーマに沿って、「想定企業での重要業務継続のための要員確保」の訓練とする

想定企業は、製造会社で、①対策本部と②生産現場およびコールセンターを対象として、在宅勤務シフトも視野にした訓練も検討

(2)対象リスク

高病原性の鳥インフルエンザ(H5N1)

(3)シナリオ策定

訓練チームとは別チームで作成(3名?)

(4) 方法(案)

①シナリオ策定(3名?)

⇒訓練には参加せず、オブザーバー、アドバイザーになるのが良い

②チーム編成

対策本部(3名?)

重要業務部門(3名?)

(生産)

コールセンター(3名?)

(在宅勤務)

③設定案は二通りを検討

・初期から検討するパターン

・ある程度取り決めがあって、それでも対応できないパターン

6. 次回開催予定

① 開催日時:2011年1月20日(木) 16:00~18:00

② 場所 所在地:東京都中央区日本橋本町4-3-4 東海日本橋ビル 7階
会場名:BCAO 東京オペレーション事務所